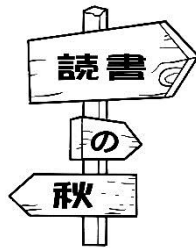


花尾中
図書
だより

Library News

2017年
第4号

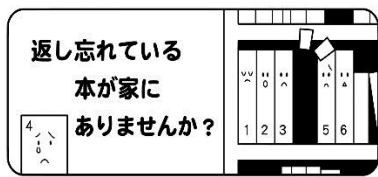
9月に入ると暑さも和らぎ、日ごと秋の気配を感じられるようになりました。秋といえば、「食欲の秋・スポーツの秋・そして読書の秋」など色々ありますが、みなさんはどのような秋を過ごそうと想っていますか？図書館では新しい本をたくさんそろえて、みなさんの「読書の秋」を応援します。



★図書館利用状況★



7月(5日間)			
来館者数	368名	1日平均	74人
貸出冊数	354冊	1人平均	1.1冊



返却日を過ぎていた本をまだ返していない人はいませんか？
図書館が開いていないときに本を返したい場合は、図書館前の廊下に「返却ポスト」がありますので、そこに投入してください。



中間報告！1学期の貸出上位者を紹介します。

	1年生		2年生		3年生	
1位	梶島 日和	80冊	高橋理彩子	123冊	上橋 明花	56冊
2位	中田 優那	41冊	中村 希美	108冊	津田 啓一	37冊
3位	津田賢次郎	27冊	本川 喜巴	67冊	金生 頼行	36冊

発表！7月花尾中学校人気図書リスト

書名	著者名	出版社
カゲロウデイズ 7	じん	KADOKAWA
ロード・アート・オンライン オブ レッパ	川原 礫	アスキー・メディアワークス
レッド・ノクターン	雨木 シュウスケ	富士見書房
エモーショナル・ハウス	雨木 シュウスケ	富士見書房
灼眼のシャナ	高橋 弥七郎	メディアワークス
カブキブ！！	植田 ユウリ	角川書店
都会のトム&ソーヤ	はやみね かおる	講談社
メモリーを消すまで	山田 悠介	文芸社
数学ガールの秘密ノート	結城 浩	SBクリエイティブ
かがみの孤城	辻村 深月	ポプラ社
5分後に思わず涙	桃戸 ハル	学研

♪♪♪♪♪ 読んでみませんか？ ♪♪♪♪♪

「月」に関する本を紹介します

	<p>「13カ月と13週と13日と満月の夜」 アレックス・シアラー著/ 933/シ 魔法の老いた体と自分の体を取り替えられてしまった12歳の少女カーリーは、13カ月と13週と13日と満月の夜までに呪文を唱えなければ元の自分に戻れない…ちょっぴり怖くて、ドキドキがとまらない、ページをめくる手もとまらない面白さです。</p>
	<p>「月の満ち欠け」 佐藤 正午/著 913/サ 欠けていた月が満ちるとき、喪われた愛が甦る。第157回直木賞受賞。この娘が、いまは亡き我が子？いまは亡き妻？いまは亡き恋人？そうでないなら、はたしてこの子は何者なのか。欠けていた月が満ちるとき、喪われた愛が甦る。3人の男と1人の少女の人生が交錯し、幾重にも織り込まれてゆく数奇なる愛の軌跡です。</p>
	<p>「みかづき」 森 絵都 913/モ 小学校用務員の大島吾郎は、勉強を教えていた児童の母親、赤坂千明に誘われ、学習塾を立ち上げる。女手ひとつで娘を育てる千明と結婚し、家族になった吾郎…。山あり谷あり涙あり。昭和～平成の塾業界を舞台に、三世代にわたり奮闘を続ける家族の感動巨編です。</p>

◆ 新刊情報 ◆

書名	著者名	出版社
山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた	山中 伸弥	講談社
パーマネント神喜劇	万城目 学	新潮社
JOJO' BIZARRE ADVENTURE OVER HEAVEN	西尾 維新	集英社
言葉屋	久米 絵美理	朝日学生新聞社
ぼくらのロストワールド	宗田 理	ポプラ社
SNS 炎上	長江 優子	金の星社
きみのためにはだれも泣かない	梨屋 アリエ	ポプラ社
初恋料理教室	藤野 恵美	ポプラ社
コンビニたそがれ堂セレクション	村山 早紀	ポプラ社
劇場	又吉 直樹	新潮社
ユートピア	湊 かなえ	集英社
月の満ち欠け	佐藤 正午	岩波書店
蜜蜂と遠雷	恩田 陸	幻冬舎
影裏	沼田 真佑	文藝春秋
掬上今日子の裏表紙	西尾 維新	講談社
ご本、出しときますね？	若林 正恭	ポプラ社
九州の鉄道おもしろ史	弓削 信夫	西日本新聞社
危険生物大百科	今泉 忠明	学研教育出版
えんとつ町のプペル	にしの あきひろ	幻冬舎
もっと羽生流！初段+プラスの詰将棋 150 題	羽生 善治	成美堂出版
奮闘するたすく	まはら 三桃	講談社
17テット・17ツ・オブ・ツィパソ	ピーター・トライブ	早川書房
はるか遠く、彼方の君へ	安澄 加奈	ポプラ社
ひたすら面白い小説が読みたくて	児玉 清	中央公論新社
心が叫びたがってるんだ。	豊田 美加	小学館

●これ以外にもたくさんのお本が入っています。リクエストも随時、募集中！

◆◆◆◆◆ 郷土ゆかりの作家の紹介 ◆◆◆◆◆

村田 喜代子

1945（昭 20）年、福岡県八幡市（現北九州市八幡東区）生まれ。花尾中学校卒業後、鉄工所に勤めながら図書館に通い、シナリオの勉強を始める。76 年、「水中の声」で第 7 回九州芸術祭文学賞を受賞。86 年、個人誌「発表」2 号に掲載した「熱愛」が第 95 回芥川賞候補となり、続けて「盟友」が第 96 回芥川賞候補となる。87 年、「鍋の中」で第 97 回芥川賞受賞、本作は「八月の狂想曲」（91 年、監督・黒澤明）として映画化された。90（平 2）年、「白い山」で第 29 回女流文学賞受賞。98 年「龍秘御天歌」で第 49 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。07 年、紫綬褒章受章。13 年「ゆうじょこう」で第 65 回読売文学賞受賞。近著に「八幡炎炎記」など。福岡県中間市在住。

【作品紹介】

「鍋の中」 1987/08



17 歳のたみ子と弟の信次郎、いとこのみな子と縦男は夏休み、田舎のおばあさんの家に遊びに来た。60 年前にハワイに渡ったおばあさんの弟、錫二郎さんの危篤を伝える一通のエアメールが届いたのだ。しかしおばあさんは錫二郎さんを覚えていない。おばあさんのあやふやな記憶をめぐりながら、自己存在を激しく揺さぶられる少女のひと夏の体験を描いた作品。

「龍秘御天歌」 1995/05



皿山・龍窯の朝鮮人陶工・張成徹（辛島十兵衛）が死んだ。苗字帯刀を許された窯の功労者であった。死に際し妻の百婆は言った。「葬式はクニの弔いでやろうと思う」。しかし十兵衛は黒川藩の功労者であり、日本式の葬式が準備され、朝鮮式の葬式は認められるべくもなかった。あの手この手で朝鮮式の弔いを遂げようとする百婆たち。弔いをめぐって二つの文化が衝突しながらも、なんとか折り合いをつけようとする様を描いた。

「八幡炎炎記」 2015/02



1945 年、敗戦の年に生まれたヒナ子は複雑な家庭状況のなか、祖父母のもとで育つ。戦後の荒廃した状況から立ち上がってゆこうとする製鐵の街・北九州八幡は、さまざまは人びとが集まり活気にあふれていた。触れ合いながら成長してゆく。著書初の自伝的小説の第一作。